

第4期 5回目授業

～1時限目 SaLLy's English Lesson 主催 英会話インストラクター

神林 サリー先生 モテ英語講座 英語圏でモテる10のゴールデンルールと実践フレーズ～



神林サリー先生 経歴

- ・バイリンガル英語講師 (アメリカ留学、オーストラリア就労、モデル時代に海外バックパッカー経験)
- ・英語学習書作家 (7冊、累計12万部突破)
- ・英語ブロガー
- ・マンツーマントレーニング、英語学習個別カウンセリング (対面・スカイプ)
- ・セミナー開催 熱中小学校英語科担当



<モテ英語講座について>

レベルは初級、中学程度です。簡単フレーズでモテ英語が話せます！徳島や上板の魅力も発信。

「モテ英語講座」上板編 チンタンエアロ&英語に魂を売る儀式。ここで日本人の殻を脱ぎましょう！

●英語で自己紹介 名前とお住まいの場所を聞き合ひましょう。

A: Hello, my name is _____ (ニックネーム)

B: I'm _____. I live in _____. And you?

A: I live in _____. Nice to meet you.

B: Nice to meet you, too!



●モテ英語

その1 とにかく相手をほめよ！

Your **OOO** is nice.

その2 笑顔を見せよ！目を見て訴えるべし！

その3 自分の意思をハッキリ言うべし！

その4 リスponcはピンポンで！

Are you free this weekend?
No. I'm expensive.

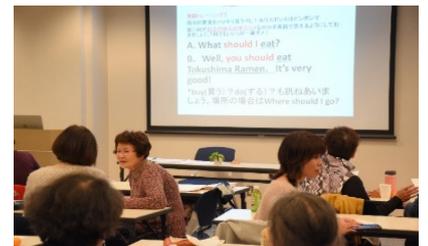
その5 Yes、Noはキッパリと

その6 英語はシンプルでストレートに！

その7 英語はポジティブに！

You should eat Tokushima Ramen. It is very good!

その8 ジョークとユーモアのセンスを磨け！



Can I take a picture here?
I'm sorry but you can't.

This is a present for you!
Thank you, may I open it?.
Sure! I hope you like it.

Smile & compliment

笑顔でほめよ。

まず相手のハートを開き上板の良さを知ってもらいましょう。

～2時限目 (株)マーケティングジャンクション 代表取締役
吉澤 隆先生 上板町のブランディング～



- インターネットでは様々な逆転現象が起こっていた。客集めではなく、店集めに注力していた。ユーザーにお金を払うビジネスを！
- 商品開発：10万人がなんとなくいいというより、ひとりが「絶対買う」ということが大事。ネットユーザーはマーケティングに関わりたがっている。
- 公告と宣伝：インターネットは宣伝は得意だが、広告は苦手だと思っている。沢山に見せたいという発想をやめる。役に立つ情報・楽しい情報に求める人は集まる。見たくなる広告。→商売のためにどんな情報を提供するか？
 - ・売りたい人の話ではなく、買おうとしてる人が知りたい話。
 - ・その商品を使う、使わないに関わらず、ターゲットにとって役に立つ話をする。
 - ・半端な昔っぽい宣伝コピーは格好悪い。
 - ・おすすめですといわない。たくさん書かれば書かれるほど買いたくなくなる。本音を書く。
- よいブランドは顧客の顔色を伺わない。よいブランドは顧客と同じ方向を見ている。

多くの人にとって、もっとも関心が高いことは自分について、そして、自分の思うところや感じたことを、他の人に受け止めてほしいのだ。

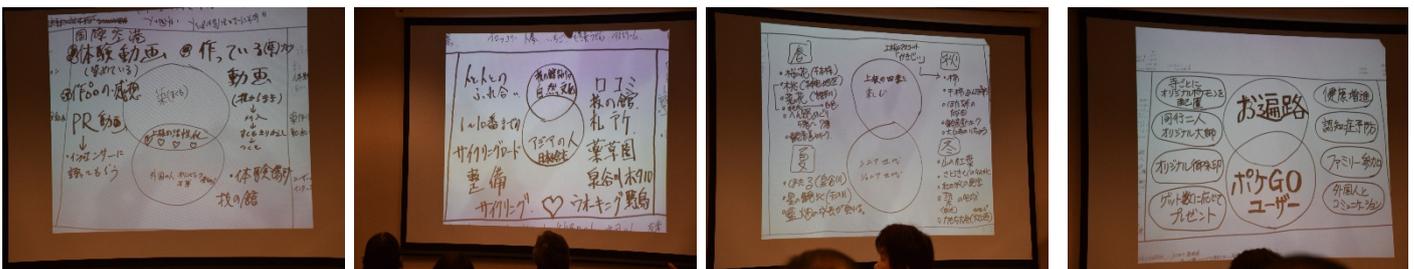
- グループワーク 徳島県をブランディングをしてみよう
(だれに、何を好きになってもらうか？そのために何をするのか、しないといけないのか？)



グループに分かれて、何をどのようにブランディングするのか話し合います！！



班ごとに発表します。



いろいろな意見がありました。どの班も特徴がありますね。